

# 本庄早稲田・リサーチパークニュース 2012.1

## 本庄早稲田の杜まちづくりプロジェクト 第1回フォーラムが開催される

現在、新幹線本庄早稲田駅周辺では、新しいまちづくりが始まろうとしています。

私達の子孫の豊かな暮らしにとって不可欠な「環境」というテーマを見すえながら、本庄地域の風土を活かしたまちの姿を提案し、地元の方々とともに話し合う場として昨年11月6日(日)に「本庄早稲田の杜まちづくりプロジェクト第1回フォーラム」を開催しました。

第I部では谷口邦夫早稲田大学理事の開会挨拶の後、関東経済産業局地域経済部の増田 仁部長が本庄早稲田の杜まちづくりへの期待を述べられました。引き続き当財団の嶋根繁専務理事と荒川正夫事務局長、早稲田大学環境総合研究センター小野田弘士准教授、早稲田大学創造理工学部高口洋人准教授が、これまでのまちづくりの取組を報告しました。

第II部は、「過去から未来につながる、あたらしいまちづくり」と題して高口准教授、小野田准教授、早稲田大学創造理工学部後藤春彦教授、吉田信解本庄市長、本庄早稲田駅周辺地区まちづくり協議会鯨井武明会長、本庄まちNET戸谷正夫代表、(株)博報堂次世代電動生活ラボ深谷信介リーダーをパネリストに迎え、大学と地元の代表者によるパネルディスカッションを行いました。約160名の来場者を交え、率直かつ熱い議論が繰り広げられました。来場者へのアンケート調査結果をみると、まちづくりの取り組みのなかで「自然との共存」、「エネルギー」、「安全」への関心が高く、9割の方がこのフォーラムに「非常に興味深かった」あるいは「興味深かった」という感想を持たれ、意義のあるフォーラムとなりました。



高口 准教授の報告



パネルディスカッションの様子

### 【本庄早稲田の杜まちづくりプロジェクトとは】

本庄早稲田駅周辺地区におけるまちづくりの在り方を検討するため、平成23年3月、地権者や地元NPO、行政、早稲田大学、都市再生機構、(株)博報堂、当財団などをメンバーとして発足しました。(今回のフォーラムは環境省「平成23年度サステナブル都市再開発促進モデル事業」の一環として開催しました。)



財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011  
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465  
<http://www.howarp.or.jp/>

# 次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

## 総会

8月25日(木)に2011年度総会が開催されました。会則の変更や会費の改定が承認され、また、2011年度役員、決算報告、2011年度事業計画などが報告されました。役員には、当研究会の発足時からご尽力いただいた小菅一憲氏と野口満氏が退任され、代表幹事に福田秋秀(株)エフテック代表取締役会長が、副代表幹事に高橋武秀(社)日本自動車部品工業会専務理事が新たに就任しました。

総会后、次世代自動車支援センター埼玉の紹介と当研究会副代表幹事である早稲田大学の 大聖泰弘教授による「震災後の自動車産業界の技術動向」と題した記念講演が行われました。懇親会にも多数の方が参加され、会員相互の親睦を深めました。



総会の様子



福田新代表幹事の挨拶



大聖教授の講演

## 第1回講演会

11月25日(金)第1回講演会が開催されました。福田秋秀代表幹事の挨拶のあと、早稲田大学環境総合研究センター樋口世喜夫参与から「ロースピードEV」と題して、次世代自動車やマイクロカーに関する各国の動向や今後の展開等について、また独立行政法人理化学研究所の大森整主任研究員から「ウルトラファブリケーションの最前線」と題して、大森先生が開発されたナノレベルの表面精度を実現した研削技術及びその応用分野についてご講演いただきました。さらに関東経済産業局地域振興課の井上雅光係長から第3次補正予算に伴う産業支援策についてご説明いただきました。



樋口参与の講演



大森主任研究員の講演

# 本庄早稲田の杜フェア2011 を開催

## 第4回食の安全シンポジウム・第3回ものづくりフェア

10月29日(土)に昨年度に引き続き、第4回「食の安全シンポジウム」と第3回「ものづくりフェア」を同時開催しました。

本庄地域周辺の食品加工メーカー、農産物生産者、製菓専門学校、ものづくり企業、児玉工業団地工業会会員企業、次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会会員企業等、全36団体に参加いただき、それぞれの企業の技術と製品の紹介・展示、地元食品加工メーカーや農産物生産者による特産物の試食・販売会が行われました。

### 食の安全シンポジウム

食の安全シンポジウムでの基調講演では、西日本新聞社企画事業局ソーシャル事業部次長 安武信吾氏を講師に招き、「弁当の日～小学生が作るお弁当～」をテーマとして、「いのち」「食」「環境」を考えながら、家族と暮らしのあり方について講演をいただきました。ご自身の闘病生活、全国で広がっている弁当の日の取り組み、お亡くなりになった奥様のお話など感動的なお話しをしていただきました。引き続き行われた座談会では、昨年の夏休みに本庄地域の小学生が延べ4日間 にわたって、こだわりの料理を作った「キッズ料理教室」の報告会を行うとともに、食の安全や食育について学びました。

### ものづくりフェア

ものづくりフェアでの基調講演では、早稲田大学商学学術院教授 鵜飼信一氏と(株)浜野製作所代表取締役社長 浜野慶一氏の両氏による対談形式で、「不況に負けない企業経営を探る～産学連携によるものづくりへの挑戦～」をテーマとして、ものづくりへのこだわり、大学との連携、リーダーシップをキーワードに不況に負けないものづくり企業の在り方について話し合われました。自社の工場が火事になっている最中に、納期を守るため代わりの工場を探したという浜野社長の熱い思いが伝わってきました。また、ものづくりフェアでの講座では、早稲田大学非常勤講師/客員研究員 末本一茂氏を講師に招き、「ミニ起業塾～ビジネスプランの作り方～」をテーマとして、起業アイデアをどう形にするか、起業は何から始めたらいいか等について学びました。今フェアでは来場者が約500名となり、本庄地域の産業について理解を深め、これからの本庄地域の未来に期待を持てる良い機会となりました。



安武氏の講演

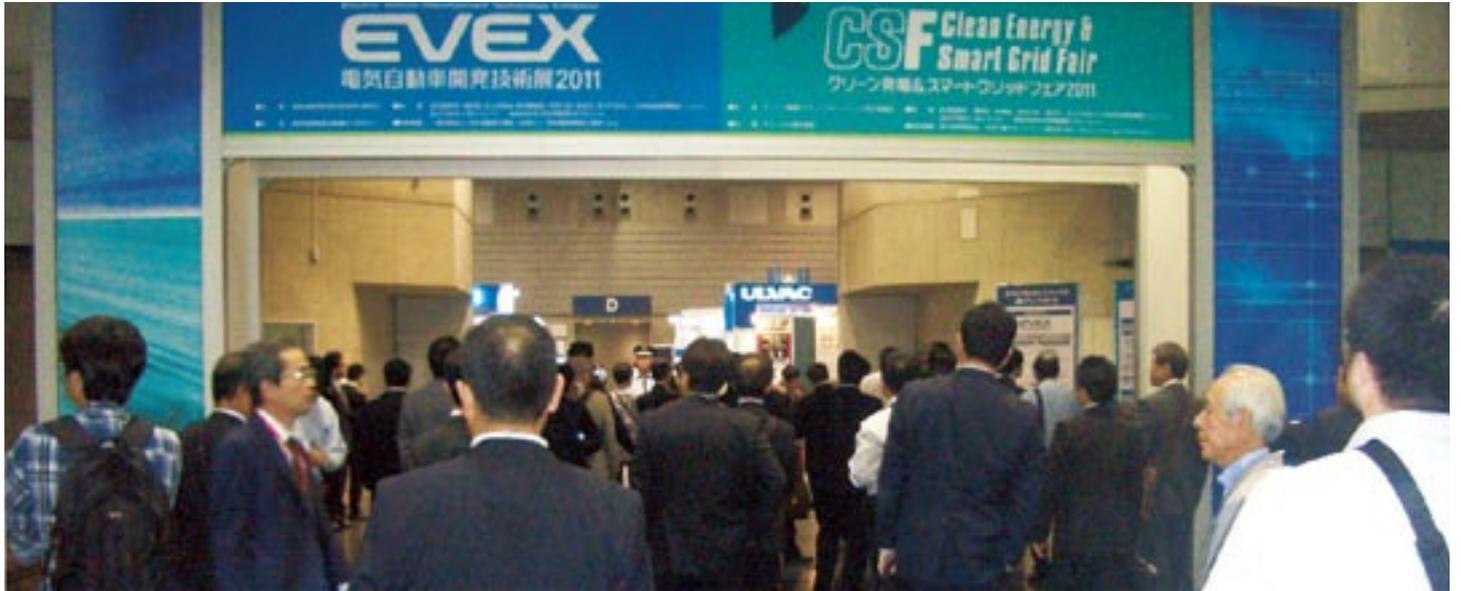


鵜飼教授と浜野社長の対談



特産物の販売

# EVEX(電気自動車開発技術展)/CSF(クリーン発電&スマートグリッドフェア)2011 に出展



会場入口

10月12日(水)から14日(金)にかけてパシフィコ横浜で開催されたEVEX2011(主催:電気自動車開発技術展実行委員会)及びCSF2011(主催:クリーン発電&スマートグリッドフェア実行委員会)に早稲田大学環境総合研究センターと合同で出展しました。

同研究センターは電動バス(WEB 1)の展示、また早稲田大学環境エネルギー研究科の研究成果及び事業化例を紹介しました。当財団は次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会や本庄スマートエネルギータウンプロジェクトを中心に紹介しました。

スマートエネルギータウン地区の模型やイメージ図、街なみのCG映像は人気を博しました。またそれぞれの会員等からはイー・ティー・エー(株)、(株)久保田鐵工所、(有)小築鍍金工業所、東京千曲産業(株)、(株)フィアロコーポレーション、日本電気(株)、(株)アキュラホーム、NTT データカスタマサービス(株)、(株)高砂建設、(株)ノア、(株)前川製作所、三ツ輪産業(株)、矢崎総業(株)、(株)早稲田環境研究所の計14社がパネル展示等を行い、自社の製品や技術力を来場者に紹介しました。期間中は約28,100人と多数の来場者があり、マスコミや来場者からも取材依頼、訪問依頼があるなど研究会、プロジェクトや会員企業をPRできるよい機会となりました。



展示ブースの様子



展示ブースの様子



スマートエネルギータウン地区の模型とCGの上映

# 本庄早稲田塾

## 企業経営者・管理者研修、中堅社員・専門研修を開催

### 企業経営者・管理者研修

11月22日(火)と29日(火)に開催した「管理監督者強化研修」には、管理監督者の方などが参加、マネジメントの基本スキル、変革型リーダーシップなどについて学びました。

### 中堅社員・専門研修

7月27日(水)と28日(木)に開催した「幹部候補育成研修」には、中堅社員、幹部候補の方などが参加、幹部候補に期待される役割・能力、リーダーシップなどについて学びました。

また、10月5日(水)には「労務管理研修」を、12月6日(火)と7日(水)には「財務管理研修」を開催しました。それぞれ、実務担当者の方などが参加し、専門的かつ実践的な講義を受けられました。

### ○今後の予定～ぜひご活用ください。

・販売促進研修(2月21日(火))を開催します。新規開拓に必要な営業スキル、営業パーソンとしての態度・行動を事例から学びます。



## 大好評 不況に負けない経営者を創る 【早稲田若手経営者ビジネススクール】第二期受講生募集中

### ものづくりニッポンを支える元気な若手経営者・候補者が集結

今年度が第一期となる、早稲田若手経営者ビジネススクールは、当財団の公益事業として県内の若手経営者・候補者を育成すると同時に若手経営者のネットワークを築くことを目的に開講しました。本講座の特色としては、ものづくり企業経営論で第一人者の早稲田大学商学大学院 鶴飼信一教授の指導監修によって進められるカリキュラムです。受講生は、最新経営理論と日本のものづくり・サービスの可能性を学び探究すると同時に、現在各業界で注目の若手経営者・専門家の講義によって実践的な体験に基づくノウハウを学ぶことが出来ます。また、知識の習得のみではなく、講師・受講生とのディスカッションや個別研究課題への取り組みによって、プレゼン能力や交渉力を養う機会が生まれます。今後は、早稲田大学、行政等のご支援を受けながら、不況に負けない強い中小企業経営者のネットワークを拡大し、地域産業に貢献することに努めます。

大好評につき本年4月から第二期がスタートします。県内外に関わらず、本講座にご興味がある経営者・事業継承者、経営幹部候補の方は是非ご参加をご検討下さい。



お問い合わせ・お申込み先 担当 池田 TEL0495-24-7455  
honjo-waseda@howarp.or.jp

# 本庄早稲田の杜こどもサマーセミナー

すっかり夏休みの恒例行事となった本庄早稲田の杜こどもサマーセミナーを開催しました。

7月30日(土)の子ども未来実験教室では「ラジオをつくろう」「光のお話し」等の講座が、31日(日)の夏休み親子スーパーサイエンス教室では「IC オルゴールをつくろう」等の講座が、8月6日(土)の本庄ユニラブ2011では「スターリングエンジンカーをつくろう」「走らせよう電気自動車」等の講座が実施されました。

3日間で22講座が開催され、延べ270名のこどもたちが参加し、本庄キャンパスは夏休みの一時元気な子どもたちの歓声に包まれました。



夏休み親子スーパーサイエンス教室の様子

## 地球交響曲第7番の上映 & 出演者高野孝子さんのアフタートーク

10月2日(日)、早稲田リサーチパークコミュニケーションセンターにおいて自然保護ドキュメンタリー映画「地球交響曲第7番(ガイアシンフォニー)」の上映と、出演されている早稲田大学 WAVOC 客員教授高野孝子先生のアフタートークを開催しました。

当日は100人を超える市民の方々が参加され、前半は世界の美しい自然を撮影したドキュメンタリー映画を、後半は高野先生と里山塾の大堀先生との映画にまつわる話やNPO法人ECOPLUSの環境教育活動、里山塾の活動についてもからめて話し合いが行われました。



アフタートークの様子



copyright © jin Tasumura office All Rights Reserved.

# 早稲田大学キャンパスツアー

9月30日(金)、市民40名が参加し、早稲田大学キャンパスツアーを実施しました。

学生ガイドの案内で大隈重信銅像・大隈講堂・大隈庭園を見学し、坪内博士記念演劇博物館では「七代目市川團十郎展」を見学しました。

また、理工学術院がある西早稲田キャンパスではまるで工場の様な実験棟の見学、建築科の研究室を訪問し、本庄のまちづくりの話を聞くなど、盛りだくさんの見学ツアーとなりました。



大隈講堂の前で



大隈重信公銅像前にて

## 昔の農具 唐箕作業を体験！ ～アグリエクササイズ～

11月12日(土)、アグリエクササイズの参加者が昔の農具とうみ唐箕を使った作業を体験しました。

「唐箕」はその名のとおり中国から伝わった農具で、風力を利用して穀物を精選する道具です。

当日は、身体・血圧測定、エクササイズの講義の後、参加者は全身ほりまみれになって唐箕を使った作業を体験しました。作業後は、マキで炊いた赤米入りごはんのおにぎりをみんなで試食しました。



赤米の試食



作業の様子

## 国際交流と音楽の夕べが開催

10月22日(土)本庄市国際交流協会との共催による「国際交流と音楽の夕べ」が昨年に引き続き今年もレストラン馬車道本庄早稲田店にて開催されました。できるだけたくさんの方々にご来場いただけるようテーブルを取り払った会場には、180余名の参加者と、演奏者26名、合わせて200余名が集い、大盛況でした。

今年は、昨年好評だったアルパ、楊琴、二胡の演奏に加え、新たにハーモニカ、早大留学生によるピアノ演奏、そして一流プロ7名による箏・三味線・笙・箏の演奏と、大変多彩かつ本格的な演奏会となりました。一般参加者も早大留学生参加者も皆、普段あまり触れることのない日本の伝統音楽の調べや、国際色豊かな楽器の演奏を堪能した秋の夕べでした。

雅楽奏者による楽器の説明コーナーでは、その独特な取り扱い方法(電熱器で湿気をとばす)に「もう一度デモンストレーションを見せてください」といったリクエストや、「その装束は元来男性用のみだったのですか」などといった質問が飛び交い、参加者は興味津々といった様子でした。



箏・三味線・笙の合奏による「斑鳩宮」の様子

アンケートには、「来年も是非開催して欲しい」という強い要望が数多く寄せられ、参加者の芸術鑑賞に対する熱い思いが伝わってきました。地域住民と早大留学生との交流を図りつつ、国際色豊かな楽器の演奏を一緒に楽しむという主旨が達成され、大変有意義な行事となりました。



楊琴と二胡による演奏



雅楽奏者による解説